

保険証(被保険者証)

保険証は国保に加入しているという証明書で、医療機関(薬局)にかかるとき(※1)に窓口で提示すれば、医療費の一部を負担するだけで医療が受けられます。大切に取り扱い、紛失しないようにしてください。

保険証の個人単位化のため、令和2年12月の更新から現在の保険証に個人を識別する2桁の番号を追加予定です。

また、令和3年3月より医療機関・薬局の窓口で保険証によるオンライン資格確認が予定されています。



※1 保険証は、国内の保険医療機関であれば使用できます。

このようなことにご注意ください

- 1 保険証の交付を受けたときは、記載されている内容を確認し大切に保管してください。
- 2 職場の健康保険に加入するなど被保険者の資格がなくなったときは、保険証は使用せず、直ちに川西市役所に返してください。また、転出の届出をする際には、届出窓口へ提出してください。
- 3 記載事項に変更があったときは、14日以内に保険証を添えて届け出てください。
- 4 保険医療機関等で診療を受けようとするときは、必ず窓口で保険証を提示してください。なお、高齢受給者は高齢受給者証(※2)も添えて提示してください。
- 5 有効期限を経過した保険証は使用することができないため、速やかに処分してください。
- 6 特別な事情がないのに保険税を滞納した場合、保険証を返還していただくことがあります。
- 7 不正に使用したものは、刑法により懲役の処分を受けることがあります。
- 8 裏面の臓器提供意思表示欄について、臓器提供の意思がある人は署名してください。
- 9 保険証・高齢受給者証の氏名表記について、性同一性障害で通称名の記載を希望する人は、国民健康保険課まで連絡をお願いします。

※2 高齢受給者証(70歳以上)

70歳になると、誕生月の翌月(1日生まれの人はその月)に「国民健康保険高齢受給者証」が交付されます。

70歳の誕生日が1日以外の人は翌月から
例 誕生日が5月5日の場合→6月から対象

70歳の誕生日が1日の人は当月から
例 誕生日が7月1日の場合→7月から対象



この高齢受給者証には、医療機関で支払う負担割合が記載されています(P9参照)。負担割合は毎年前年所得に基づいて見直しされ、8月から新たな負担区分が適用されます。新たな高齢受給者証は7月下旬に送付します。

必ず国保の保険証と一緒に医療機関に提示してください。